

新青丸 KS-19-6 研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

- * 航海番号 KS—19-6 次研究航海

- * 観測海域 (和文) 三陸沖
 (英文) Off Sanriku

- * 航海期間 平成31年4月19日(金)～平成31年4月28日(日)

- * 出港日時・場所 4月19日14時横須賀港

- * 入港日時・場所 4月28日10時石巻港

- * 寄港期間・場所

- * 航海の研究題目 (和文) 乱流混合自動観測システムの開発：深層フロートと水中グライダーによる混合の季節変動・前線観測

 (英文) Development of autonomous turbulence measurements: seasonal and frontal mixing variability

- * 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)
 安田一郎・東京大学大気海洋研究所・教授・ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp

- * 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目
 1. 乱流計搭載深海フロート観測手法の開発 安田一郎(ichiro@aori.u-tokyo.ac.jp)、乱流・水温塩分・圧力

 2. 乱流計・ADCP 搭載水中グライダー観測手法の開発 李 根淙(leekj@aori.u-tokyo.ac.jp)、乱流・水温塩分・圧力

 3. 超深海乱流計を用いた深海乱流観測 藤尾 伸三(fujio@aori.u-tokyo.ac.jp)、乱流・水温塩分・圧力

 4. 航走式乱流計を用いた詳細前線構造の観測 伊藤 幸彦 (itohsach@aori.u-tokyo.ac.jp)、乱流・水温塩分・圧力

5. 水中ライダーを用いた長期海洋構造観測 長谷川 大介
(daisukeh@affrc.go.jp)、乱流・水温塩分・圧力

6. 魚探を用いた生物分布と前線構造の関係 田中 雄大
(takahiro@affrc.go.jp)、魚探

7. 三陸沖深層流・水塊構造観測 柳本 大吾 (daigo@ori.u-tokyo.ac.jp)、乱流・水温塩分・圧力・LADCP・酸素濃度・塩分

8. 高速水温計を用いた乱流強度定量化と時定数検定 安田一郎
(ichiro@ori.u-tokyo.ac.jp)、乱流・水温塩分・圧力

* 乗船研究者氏名・所属・職名

安田 一郎・東大大気海洋研・教授

藤尾 伸三・東大大気海洋研・准教授

伊藤 幸彦・東大大気海洋研・准教授

柳本 大吾・東大大気海洋研・助教

李 根淙・東大大気海洋研・特任研究員

田中 衛・東大大気海洋研・特任研究員

翟 燦 ・東大大気海洋研・大学院生

佐々木 雄亮・東大大気海洋研・大学院生

濱本 真沙希・東大大気海洋研・大学院生

長谷川 大介 水産研究教育機構東北区水産研究所・研究員

田中 雄大 水産研究教育機構東北区水産研究所・研究員

山木 謙 鶴見精機・電気設計課職員

豊田 進介 マリン・ワーク・ジャパン・観測技術員

* 航跡・測点図

KS-19-6_Nav Track

